

● 施工実績(抜粋)

No.	工 事 件 名	発注者	年・月	高さ(m)	面積(m ²)
1	付け替えトンネル坑口法面改良工事	九地整 (佐賀河川)	H21.3	10.5	624
2	JR折尾駅高架4工区(起点側)拡幅工事	JR九州	H24.11	17.5	1150
3	一般県道小船紀宝線平成23年道路災害復旧工事(国災第702号)	三重県	H25.11	8.0	660
4	一般国道260号(押淵工区)災害防除施設工事	三重県	H26.3	6.5	332
5	麗刑務所RC外塀新営工事	法務省	H27.2	8.3	347
6	都市計画鯉田中線道路改良工事(5工区)	福岡県	H27.7	9.0	253
7	十津川第二発電所二津野調整池護岸(堆砂側線NO102地点)整備工事	日本電源開発	H28.3	13.5	364
8	平成27年度折尾土地区画整理事業法面整備工事(27-1)	北九州市	H28.7	13.3	260
9	被覆型一般廃棄物最終処分場建設工事(1工区)	沖縄防衛施設局	H29.3	15.0	2857
10	九州新幹線(西九州)、長崎駅高架橋	鉄道運輸機構	H30.6	8.0	414
11	小鶴原女木線改良他合併工事	熊本県	H31.1	9.0	260
12	主要地方道熊本玉名線(京町1丁目工区)法面災害復旧及び対策工事	熊本市	H31.2	16.0	894
13	国道371号道路改良工事	和歌山県	R1.5	5.5	277
14	県道安谷赤谷線道路災害復旧工事(281号)	福岡県	R1.9	4.5	64
15	市道滝脇日陰1号線道路承認工事(道路築造)	豊田市	R1.10	8.5	485

(全施工実績:37件)

● 施工写真

■ 既設擁壁の補強(実績表No.12)



施工前



施工後

■ 道路拡幅・河川護岸(実績表No.13)



■ 処分場建設(実績表No.9)

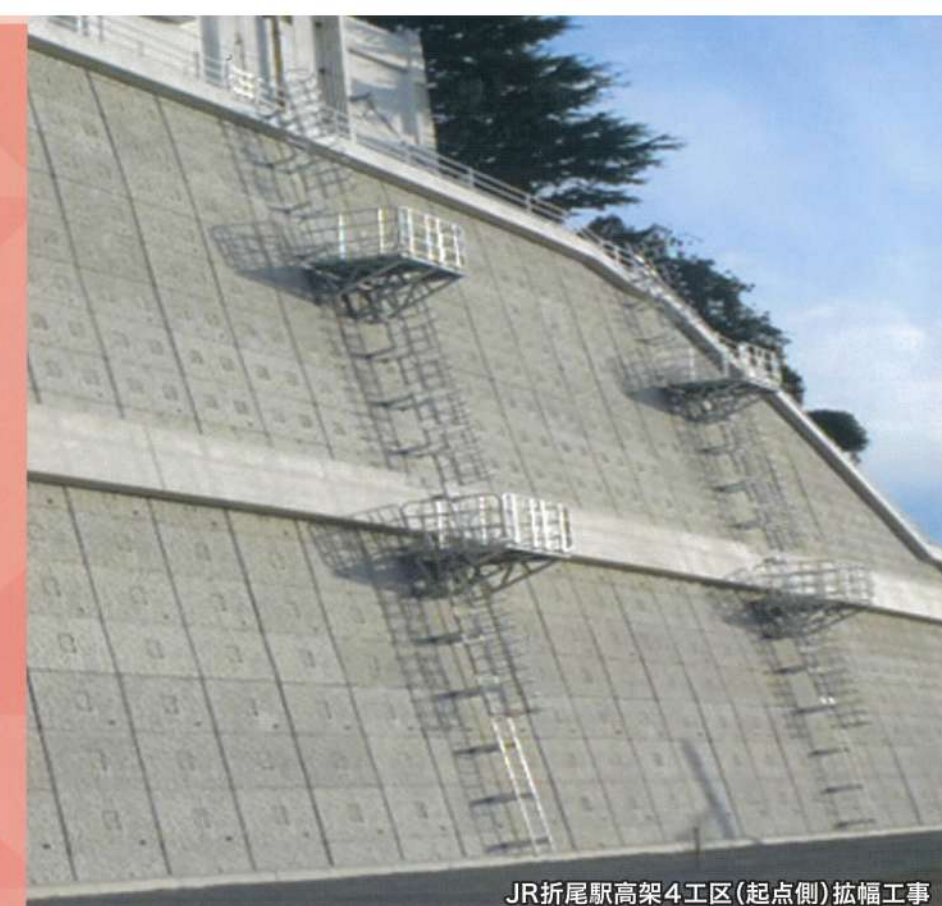


RBPウォール工法協会

[事務局]
 太洋基礎工業株式会社 九州支店内
 〒812-0863 福岡市博多区金の隈1丁目22-8
 TEL(092)504-2208
 FAX(092)504-5616
 E-mail:rbpw@sage.ocn.ne.jp

アスザック株式会社 インフラエンジニアリング事業本部

〒382-8508
 長野県上高井郡高山村大字中山981
 TEL:026-245-6567
 FAX:026-248-3710
 mail:infraeng@asuzac.co.jp
 URL http://www.asuzac.co.jp/



JR折尾駅高架4工区(起点側)拡幅工事

耐震性に優れたパネル一体型構造

切土補強土工

RBPウォール工法

NETIS 登録番号 QS-160035-A



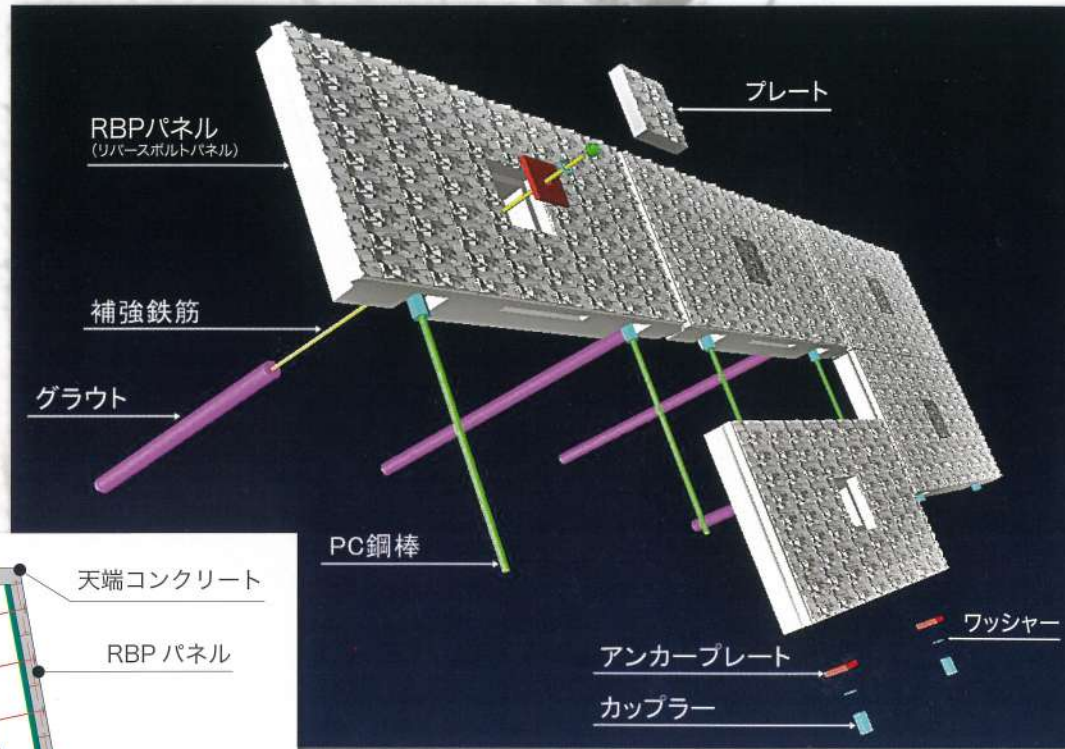
主要地方道熊本玉名線(京町1丁目工区)法面災害復旧及び対策工事

急勾配法面の安定性を高める逆巻き・順巻き工法

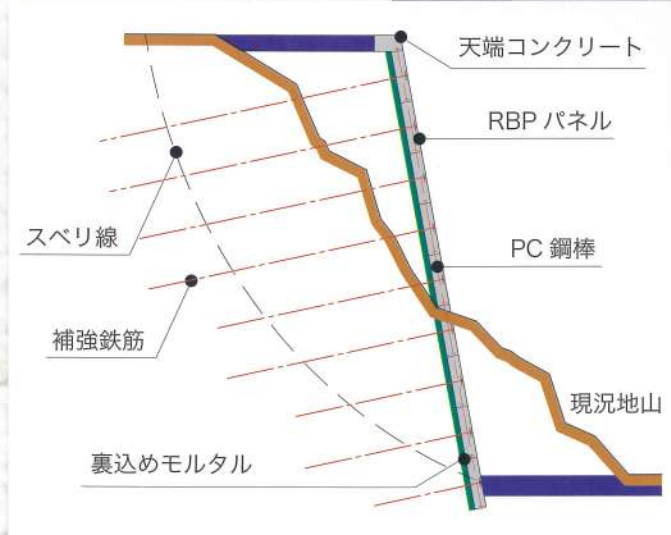
RBPウォール工法の概要

- ★ 切土法面を補強しながら法面上方より切り下げていく逆巻き工法で、現況の法面をカットして急勾配法面を形成します。
- ★ 勾配の実績は1分～5分が多く、崩壊長さL=30m以下の中規模崩壊対策に適応します。また法長20mの施工が可能です。
- ★ 主な構成部材は、RBPパネル、補強鉄筋、およびPC鋼棒の3部材です。
- ★ RBPパネルを補強鉄筋でカットした地山に固定し、各段毎にRBPパネルを上下方向にPC鋼棒で緊張連結します。
- ★ 適用箇所は、用地に余裕の無い「道路の新設・拡幅」「既設擁壁の補強」「災害復旧・河川護岸」等で用いられています。
- ★ 掘削の無い盛土部においては、下端部より上方への順巻き施工を行います。

■RBPウォール工法イメージ図



■参考断面図



■RBPパネル仕様

形状・寸法	<凸型> 厚さ 265 × 幅 2000 × 高さ 1000 割石模様	
補強鉄筋の定着数	1穴パネル 	2穴パネル
コンクリートの設計基準強度	$\sigma_{ck}=40\text{N/mm}^2$	
製品重量	1040 kg	
設計荷重	127 KN	
対応できる補強鉄筋	D19 ~ D35	
PC鋼棒	$\phi 23$ B種1号	
PC鋼棒の締付トルク	370 N·m	

RBPウォール工法の特長

- ★ PC鋼棒連結によるプレストレス効果
 - ① 基準段から上下への延伸も可能です(順巻きも可)。
 - ② 耐震性が向上します。
- ★ 工期の短縮
 - ① RBPパネルは許容荷重が大きいため補強鉄筋本数を減らせます。
 - ② 掘削する地山の状況によっては2段施工も可能です。
- ★ 安全性の確保

各段の掘削完了後、セットするRBPパネルは、既に地山に固定されている上方のRBPパネルとPC鋼棒で即座に連結されるため、施工性に優れ、作業の安全性が確保されます。



RBPウォール工法の施工順序



1の作業ののち、2～5作業を繰り返し施工し最下段までのパネル設置を行います。



完成